

法人（事業所）理念		・小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します。・どんな時も明るい笑顔と挨拶を欠かしません。・安心安全な環境作りに努めます。		
支援方針		縁コラージュでの活動を通して、社会にでて困らないように子どもたちを支援いたします。 4つの柱 ①生活動作を身につける。 ②戸外活動を通して公共マナーを身につける。 ③自己肯定感を高める為様々な事にCHALLENGEする。 ④子どもたちの意思決定を大切にします。		
営業時間		学校課業日 学校終了 時 00 分から 17 時 00 分まで 学校休業日 10 時 00 分から 16 時 00 分まで	送迎実施の有無	○あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	・コラージュの活動を通して、「挨拶」や「ルール」を学ぶ。 ・行事や戸外活動を通して、公共マナーや季節の移り変わりなどを学ぶ。 ・手洗い・うがいなど病気の予防をする。		
	運動・感覚	・基礎体力向上のため公園活動やお散歩に取り組む。 ・ボタンの開け閉めなどができるように粘土遊び等の微細運動を通して生活力を高める。 ・感覚過敏などで気持ちが乱れた場合、落ち着くことができるよう支援します。		
	認知・行動	・ほめる支援を通して他者のいいところをまねするように働きかけます。 成功体験を増やせるように支援します。 ・だるまさん転んだや椅子取りゲームなどといった遊びを通してルールを理解し協調性を学びそれに応じた行動をする。		
	言語 コミュニケーション	・困っていることの意味表示ができるように支援します。 「挨拶」を大切に、コラージュ内だけでなく公共の場所や近所の人にも挨拶できるよう支援します。 インや絵カードを用いて他者に伝達できるようにスキルを養う。		
	人間関係 社会性	・公共交通機関 公共施設等の利用を通してルールやマナーを学び社会性を身に着ける。 ・家族以外の大人やお友達と出かける事の楽しさを学びながら、他者に合わせた行動や振る舞いを学ぶ。 人と人の距離を学び、パーソナルスペースを学びながらみんなと過ごす。		
家族支援		送迎時などを通して面談を行い本人及びご家族に対して支援を行う。 保護者会を川口の事業所で開催する。	移行支援	児童の発達段階を把握し、就学先や就労先が適切であるか、保護者や学校等と連携を図りながら支援をしている。本人にとって無理のない環境の提案をしていく。
地域支援・地域連携		商店街のハロウィンイベントなど地域の行事に参加し地域連携を図る。また図書館や児童館といった公共性の高いものやフードコート体験などを実施し事業所の理解を深めていく。	職員の質の向上	外部研修、社内研修、事故報告書、ヒヤリハットの作成を徹底し、再発防止に努める。月1回職員ミーティングや支援会議を通して児童の支援方法や情報を共有する。勉強会やロールプレイングなどを実施し能力の向上を図る
主な行事等		季節感を感じられる行事を楽しむ（ハロウィン クリスマス 夏の水遊び お月見 等） 公共機関を利用した外出・フードコート等を利用した外食レク。 公共施設（博物館 科学館 水族館等）の利用をし、様々な事を楽しみながら学ぶ。		